

2026年 6月12日

関係大学（研究科・学部）の長 殿
関係機関長 殿

福島大学行政政策学類長
今西 一男
(公印省略)

教員公募について（依頼）

時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本学類では、下記のとおり教員の公募を行うことになりました。つきましては、貴学（機関）関係者へご周知くださるとともに、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 採用職名 准教授または講師
2. 人員 1名
3. 専門授業科目 「社会福祉論」及び「地域福祉論」
4. 待遇 「国立大学法人福島大学職員就業規則（金谷川事業場）」による
 - (1) 契約期間：任期なし（定年65歳）
 - (2) 試用期間：試用期間あり（3か月）
 - (3) 就業場所：（雇入れ直後）福島大学金谷川キャンパス（福島県福島市金谷川1）
（変更の範囲）大学の定める場所
 - (4) 就業時間：専門業務型裁量労働制（労働時間の範囲は8:30～21:30とし、所定労働日に勤務した場合は7時間45分勤務したものとみなす）
 - (5) 休日：土日、祝日、年末年始、その他特に指定する日（入試業務等により休日に勤務を命ずることがある）
 - (6) 給与：「国立大学法人福島大学特定年俸制教員給与規程」による

(7) 加入保険：文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険

(8) 受動喫煙防止措置：敷地内全面禁煙

※福島大学規則集 URL：

https://www.fukushima-u.ac.jp/reiki_int/reiki_taikei/r_taikei_01.html

5. 応募資格及び条件

(1) 社会福祉学・地域福祉学を専門分野とし、「社会福祉論」及び「地域福祉論」に関する科目を担当できる方（両科目の位置づけは以下のとおり）

＊社会福祉論は社会保障分野の内、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉などを取り上げ、様々なハンディキャップを克服するとともに、安心して社会生活を営むための公的支援に関する政策論的研究を基礎とする。2年次担当。

＊地域福祉論は社会福祉論を基礎として、地域社会において顕在化する社会福祉的諸課題を現実の事態として捉え、調査や実践を通じて課題に向き合い、解決に資する社会実装力を意識した科目とする。3年次担当。

(2) 専門分野で博士の学位を有している方（取得見込みも含む）、あるいはそれと同等の研究業績を有している方

(3) 採用時 45 歳以下の方（なお、定年は 65 歳である）

年齢制限の設定は、長期勤続によるキャリア形成を図るためである（雇用対策法施行規則第 1 条の 3 第 1 項第 3 号イ）。

(4) 採用後、福島市またはその近郊に居住できる方

6. 提出書類

※電子応募の場合は、PDF ファイルにして提出してください。郵送の場合は、A 4 版で印刷して提出してください。

(1) 履歴書（福島大学履歴書様式） 1 通

写真を添付し、連絡先（電話番号とメールアドレス）等を明記してください。

(2) 研究業績リスト（書式自由） 1 部

主要業績を 3 点指定してください（冒頭に◎印をつけてください）。

(3) 著書または論文のうち主要なもの 3 点（各 1 部、コピー可）

公刊予定の原稿については掲載決定の証明書、博士論文については学位取得を証明するものを添付してください。

(4) 主要業績 3 点の要約 各 1 部

(2) の研究業績リストで主要業績に指定した 3 点の要約（各 1,000 字以内）。

(5) 本学着任後の研究計画 1 部

2,000 字以内にまとめたもの。

- (6) 本学での教育活動への抱負 (2,000 字以内) 1 部
- (7) 社会福祉論及び地域福祉論のシラバス (各 15 回分) 各 1 部
7. 応募締切 2026 年 9 月 7 日 (月) (当日必着)
8. 採用予定日 2027 年 4 月 1 日
9. 書類提出先 JREC-IN Portal Web 応募または下記に郵送してください。
〒960-1296 福島県福島市金谷川 1 福島大学行政政策学類支援室
封筒の表に「社会福祉論及び地域福祉論教員応募書類在中」と朱書きし、
簡易書留または特定記録郵便で送付してください。
10. 照会先 福島大学行政政策学類支援室長
電話 (024) 548-8253 (ダイヤルイン)
メールアドレス gyosei-j@adb.fukushima-u.ac.jp
11. その他
- (1) 選考の過程で面接を行うことがあります。その際の旅費等は自己負担とします。
- (2) 面接の際に模擬授業を行っていただく場合があります。
- (3) 提出書類は返却しません。

付記

- ① 本学では現在、学士課程の改革を行っており、2027 年 4 月 1 日より行政政策学類と経済経営学類を統合して「政経学部」(仮称)を設置する予定です。したがって、採用後は政経学部に所属する予定となります。また、大学院地域デザイン科学研究科地域政策科学専攻に所属することとなります。
- ② 採用後、現行の行政政策学類の科目を担当するとともに、政経学部の科目を担当することになります。
- ③ 学類及び学部における主たる担当科目は、専門科目「社会福祉論」「地域福祉論」及び 3・4 年次の演習科目等です。
- ④ 上記の科目の他に、学類及び学部 1 年次ならびに 2 年次の演習科目、基盤教育科目(「社会論」等)を担当することがあります。
- ⑤ 学類には社会人を対象とした夜間主が設置されており、その専門科目を担当していただきます。また、各種演習科目を担当することがあります。
- ⑥ 大学院における主たる担当科目は、専攻科目「社会福祉」「地域福祉」及び特別演習・特別研究等です。
- ⑦ 本学の概要については、<https://www.fukushima-u.ac.jp> を、行政政策学類の概要については、<https://www.ads.fukushima-u.ac.jp> を参照してください。
- ⑧ 過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず履

歴書等に記入願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。

- ⑨本学は男女共同参画を推進しており、女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。